



JAMCA ニュース

No.93

2017年4月1日

発行
協会事務局全国自動車大学校・整備専門学校協会
〒160-0015 東京都新宿区大京町31
ヴィップ新宿御苑 ☎03-3356-7066

編集事務局

〒125-0002 東京都葛飾区西亀有3-28-3

☎03-3601-2535 FAX 03-3601-2988

ホームページアドレス <http://www.jamca.jp/>

「国民の生命と安全を守る」という崇高な 公共的使命を持つ、自動車整備士を育成

関東工業自動車大学校 理事長
全国自動車大学校・整備専門学校協会 会長

中川 裕之



自動車整備士を目指す若者が更に減少している問題に直面して、自動車大学校、自動車整備専門学校に社会における役割と責任について改めて、確認することが重要であると思います。

過去において、我が国の戦後の復興には、国内自動車産業の確立と発展が不可欠でありました。そこで、国産自動車の販売台数を伸ばすには、「壊れた車を修理する」というサービスが必要不可欠でありました。この時点における、自動車大学校の役割は、自動車産業界に自動車修理する人材を輩出することでありました。このことから、自動車整備士という名称よりも、自動車修理工という、通称が社会で定着してしまいました。

しかし、成熟を迎えた自動車交通社会においての、自動車整備士の役割は、自動車を修理するということは、手段であって、目的ではなくなりました。

高度な整備・点検により、「国民の生命と安全を守る」ことが、明確な目的となったのです。したがって、最早、自動車修理工という言葉は、「名は体を表す」ことにはなっていないのです。

国土交通省より、五年以上前から、「パッシブセーフティからアクティブセーフティへ」対応しろとご指導いただいております。

このことは、故障や事故が起きてからではなく、事前の整備点検のグレードを高めなければ、国民の生命と安全の確保ができないということでもあります。

そこで誕生したのが、「一級自動車整備士」です。「二級自動車整備士」の二年に対して、何故、二倍の四年

制になっているのでしょうか。

答えは簡単です。自動車を修理できれば良いということではなく、幅広い知識と豊かな人間性を持つ「国民の生命と安全を守る」という崇高な公共的使命を持つ、自動車整備士を育成するには、二年では不十分で、四年かけなければ社会の期待に応えることができないからです。したがって、学校の名称も、専門学校から自動車大学校になっているわけです。このことこそ、我々が社会に果たしてゆかなければならない責任であり、社会における存在価値でもあります。

しかし、社会における自動車整備士に対する認識は、いまだに「自動車修理工」であります。その原因は、我々自動車産業界にその責任の一端があります。

業界内においてさえも、自動車整備士は「修理工」だ。四年制の一級は必要がないという考え方が多くあるからです。

太田国土交通大臣が、国会において、「一級自動車整備士」の必要性を明確に発言されたにもかかわらず、業界内に「一級自動車整備士」不要説があるのです。

一級自動車整備士の不足は、ダイレクトに「国民の生命と安全を守る」ことに対する、明確なリスク要因です。

にもかかわらず、学校業界の学生不足、自動車業界の人材不足というような、自分勝手な理由の対策に固執しているようでは、社会の要請には決して応えられず、問題の解決は不可能だと思えます。

自動車産業界、学校業界、ともに、国からの許認可事業であることを、再確認しなければなりません。

許認可事業である限り、公共的使命の達成が事業利益よりも優先していることは明らかです。

であるならば、学生不足とか人材不足とかいう身勝手なロジックは捨てなければなりません。「国民の生命と安全を守る自動車整備士が不足している」という共通認識に立つのです。自動車産業界全体で、我が国の将来を担う若者たちに目指してもらいたいのは、「国民の生命と安全を守る」という公共的使命を持ったエンジニアであって、単なる修理工ではないこと、一級自動車整備士は大学と同等の四年制であることを社会に訴えることが唯一の方法であると思います。

私たち、JAMCAの社会における存在価値は、安全で快適な交通社会を実現するために、我が国の将来を担う若者たちに、国民の生命と安全を守るという崇高な公共的使命をもつ、一級自動車整備士として、社会に貢献し、その職業を通じて、自己実現を図れる、教育の機会を提供することにあります。

JAMCAは、将来の日本を担う若者たちの為、この理念の具現化に全力をあげ取り組んでおります。

CONTENTS

2面	他の業種との結びつきが深まる 水平分業の時代へ
3面	クルマ大好き!、活躍!!女子!卒業生
4面・5面	~自動車大学校の東京オートサロン展示に見る~ 若者の自動車への意識 VOL.2
6面・7面	協会ボックス・アイドルタイム・地区通信
8面	私の教材活用・編集後記